



やのまひか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：山本章吾 幹事：金田柁宏 SAA：山田久就 会報委員長：笠原盛泰
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度 37回 通算第 1016回 平成 19年 4月 3日 (火) 晴

ゲスト 石田喜運さん (豊橋ゴールデンRC)
 ビジター 安田一夫さん (豊川RC)
 出席報告 高木修委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	3 / 20 修正出席率
56名	50名	28名	54%	92%

司会進行 山田久就 SAA

会長の挨拶及び報告 山本章吾会長

こんにちは。桜の花が満開です。久しぶりの商工会議所での例会です。合同例会、クッキング例会、養護学校での社会奉仕



事業実施例会で外での例会が続きました。特に先週の養護学校での杉板貼りの作業は、慣れない作業にも関わらず大勢の会員のご協力を頂きました。ありがとうございました。当日の作業の様子は、新聞報道もあり、NHKでも放映されました。

本日の例会は、豊橋ゴールデンロータリークラブの石田さんにお越し頂いております。後ほど卓話を頂きますので、よろしく願います。

また、本日は、センバツ甲子園の決勝で、両校のエースが共に東三河の出身の子だとのこと。関係の方もあるかもしれませんが、各自応援を頂ければと思います。

幹事報告 金田柁宏幹事

ウィークリー：豊川、蒲郡、豊橋南RC
 例会臨時変更のご案内
 蒲郡、豊橋ゴールデンRC
 笠原会員の事業所のオープングレセプションについて

委員会報告

社会奉仕委員会 (伊藤正幸委員長)
 3月27日の杉板貼り作業の御礼と作業の終了の報告

新世代委員会担当例会

委員長あいさつ 星川佳伸委員長

こんにちは。本年度より新世代委員会事業として、この豊川宝飯地区の高校生ボランティア連絡協議会を設



立することになりました。皆様方には、この事業に対しましてご理解とご協力をお願いします。

今日は、豊橋地区で14年ほど前から高校生ボランティア・ハート・ネットワークが設立され、設立当初から現在も活動に携わっております。豊橋ゴールデンRCの石田喜運さんにお越し頂きました。設立当初のことから、現在の活動についてお話を頂きます。よろしく願います。

卓話「高校生ボランティア・ハートネットワークの活動

について」石田喜運氏

ご紹介頂きました、豊橋ゴールデンRCの石田でございます。私は豊橋ゴールデンRCの設立と共に、豊橋RCより移籍をさせて頂きました。高校生ボランティア・ハート・ネットワークについてお話をする訳ですが、なぜこのようになったのかをお話からさせて頂きます。



この活動は、私どもが豊橋市内の11校の高校生と一緒にひとつのグループを作りまして、高校生の行っている奉仕活動を支援するという活動です。お金の支援ではなくて、連絡協議会として交流会をおこなって13年間活動を行ってきております。そうしたところ、一昨年の11月に、高校生が600名ほど参加する善意銀行主催の事業がありまして、そこに豊川の御津高校と小坂井高校の生徒さんが参加しており、ぜひ、豊橋のボランティア・ハート・ネットワークに入れて頂きたいと申し入れがありました。我々のクラブとしては、テリトリーがありますので、ハートネットワークに入れて良いものかどうか大変迷いまして、こちらの当時の会長の浅野さんに相談をさせて頂きまして、なんとか豊川宝飯地区の6校ある高校のボランティア活動の連絡協議会を作っただけじゃないかとお願ひしました結果がこのようになっております。

私どもは、この13年間この活動を支援してきた中で色々な勉強をさせて頂きました。私のクラブも交換学生をやっておりまして、2年ぐらいでとても出来ないということで途中でやめました。高校生ボランティア・ハート・ネットワークが13年続いているということは、ある意味では、そんなに負担にならないということです。私は地区のライラ委員や青少年委員をやりまして、地区の様々な活動を見えています。高校生を対象とした事業はたくさんあります。ロータリーの活動の中で、国際奉仕、新世代、職業奉仕、社会奉仕も青少年に関わるプログラムが七割程あります。地区の青少年の副委員長をしている時に、イン

ターアクトとローターアクトの活動は、ある意味限界にきているのかなと感じておりました。ローターアクトは、青年会議所があったり、会議所の青年部があったりして、なかなか入会してもらえない。会員の募集をするのが大変なのが実情です。そしてインターアクトも、提唱クラブも地区も非常に活動に対して費用が掛かりますので、1つのインターアクトクラブを数クラブで面倒をみている状況です。

我々のクラブの設立時のガバナーが、故高沢隆さんでした。私どもも創立して5年間は仲良しクラブとしてゴルフをしたり、親睦を深めたりしておりました。そんな時に高沢さんから「そろそろ対外奉仕をやるように」とお叱りを受けました。私がちょうど会長で、ガバナーは宮地信尚さんでした。いろいろと検討をしました。高沢さんからは、インターアクトクラブを作るように勧められました。クラブとしても、そのつもりで豊橋商業高校以外の市内の高校に廻りますと、ほとんどの学校で、豊橋商業高校インターアクトクラブに負けないぐらいの活動をしていることを知りました。それで1校の面倒をみるよりは、連絡協議会を作るほうが良いのではということになりました。そして始まりました。当時、高沢さんが県の教育委員長をされておられて、高沢さんの親しい時習館高校の校長先生が東三河の校長会の会長をお努めで、当時の文部省が高校生に対するボランティア教育の推進をしており、ボランティア活動をしている生徒の内申がプラスされるということがありました。そのような環境の中で、まず公立高校が参加してくれて、続いて私立高校も参加してくれました。10校がこの会に参加してくれました。その時の趣旨が、基本的にロータリアンとして奉仕活動をしなければならないが、実際の高校生がやっている活動（老人ホームへの慰問、養護施設への慰問）を我々ロータリアンがすることは現実にはできません。そこで高校生の皆さんの活動をロータリークラブとしてバックアップをして、より高校生の皆さんが活動できるような環境づくりがロータリーの奉仕活動の一部ではないかという趣旨にしました。

設立に当たっては、各高校の担当の先生方と協議をして理解をして頂くのが大変でした。それは、学校教育で行っているのに、なぜロータリーと一緒にするのかというのが学校の

先生方の考えでした。私たちは、学校を超えた交流が必要ではないかと力説をさせて頂いて、子ども達の交流の機会として勤めてまいりました。当初非常に抵抗のあった先生方も、生徒たちが実に生き生きと交流しているのを見て、ご協力して頂きまして現在に至っております。ロータリーという団体は、薬物だとか非行化などの教育に取り組んでいますが、実は専門家のカウンセラーでないと対応できない部分もありますので、我々のクラブは頑張っている子を応援することが趣旨であります。

まず始めて見て驚いたことが、それぞれの高校の生徒が物おじすることなく意見の交換をしていることです。一年に1回、我々の例会に顧問の先生と生徒2名を招いて、代表の高校が一年間の活動のスピーチをします。ロータリアンの私たちがビックリするほどに立派にスピーチをされます。学校の先生からは、発表の機会を与えて頂いて嬉しいと言って頂いております。地区での報告会でも大変よい好評を頂いております。名古屋地区でもこのような連絡協議会の設立をしたいと考えているようですが、なかなか公立高校の壁があって難しいようです。

そして、地区に対してこの活動に地区の補助金を申請しましたら、1つのクラブの活動だけでは予算をつけることはできないということでした。これで豊川宝飯地区が設立されますし、新城地区、田原地区でも準備をして頂いておりますので、東三河でこのプログラムを推進して、地区の補助金申請に働きかけをしていこうと思っております。

当クラブの創立10周年事業として、高校生ボランティア・ハート・ネットワークの皆さんの企画、準備、運営をすべておこなって「小さな輪から始めよっか」という交流会を行ってくれました。講師を招いての講演会、高校生の擬似体験をしたり、立派な活動をしてくれました。当時の高校生が社会人になりまして、“ひまわりと話そう”という団体を作ってボランティア活動を始めております。

高校生ボランティア・ハート・ネットワークは、基本的に各学校の奉仕活動を主体としておりますが、3年ほど前から1年に1回11校が集まって何かの事業を行うことになりました。1年目は、先輩たちがやっているひまわりと話そうの活動に参加しました。2年目は、OSGフェニックスの豊橋での試合のと

きに、インド・パキスタンの災害募金活動をしました。募金活動のために集まった高校生はなんと200名でした。本年度は、交流討論会をおこないました。しかし基本的には、各学校の活動を主体にしてもらっています。

先般、2月10日に行われた、豊川宝飯地区の設立に向けての話し合いに参加させて頂きましたが、やはり抵抗のある先生方もおみえになりましたが、生徒さんたちの感触は良かったので、これは豊橋の場合と同じだと思いました。私どもがやっていることは、例会に先生と生徒を招いて話を聞くことで、そんなにクラブに負担にならないかと思えます。あとは、地元の新聞紙へのPR活動です。毎年、地元地方紙に各高校の活動を載せて上げると生徒達は非常に喜びます。

これから、豊川宝飯さんか作られ、新城や田原にも出来ていきますと、この東三河で交流が出来るようになると高校生の諸君が大変喜ぶと思えます。先日の交流会でも豊橋の高校生が、東三河の高校生、全国の高校生と交流がしたいと意見を言っていました。そのようになることを私どもも願っておりますので、我々のクラブで出来ることは、協力させて頂きますので、連絡協議会を立ち上げて頂きまして、青少年のために共に活動が進められれば大変ありがたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

ニコニコボックス

その他

石田喜運さん	本日のスピーチをよろしく
安田一夫さん	メイクアップさせて頂き
伊藤正幸会員	先週の杉板貼り作業の御礼
山本章吾会員	”
川淵啓治会員	新聞とTVに映りました
夏目雅康会員	色々祝って頂き
星川佳伸会員	結婚記念日を祝って頂き
加山昌弘会員	濟州島のカジノで勝って
笠原盛泰会員	ｽｰｯｸﾌﾞﾚｯｼﾞﾝｸﾞのご案内

次回例会のお知らせ

と き 4月17日(火)12:30~
と ころ 豊川商工会議所
内 容 新入会員の入会式
環境保全委員会担当例会

会報担当者：笠原盛泰会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。